



さくら

令和7年5月27日

川崎市立生田小学校 多摩区生田7-22-1

<https://kawasaki-edu.jp/2/413ikuta/>
 (学校ホームページをぜひご覧ください)

「一生懸命 悔いのないように 楽しく全力を尽くす」

校長 江良 真一

5月24日(土)曇り空の下、令和7年度運動会を開催いたしました。

「いっしょうけんめい くいのないように たのしく全力をつくす」のスローガンを掲げ、全校児童の、たくましさ、躍動感、協力、思いやりなど多くの姿が見られる運動会となりました。

GW明けからの本格的な練習期間はおよそ2週間。子どもたちの集中力で、たちまち集合の仕方、並び順、隊形を覚え、演技、競技共に本番当日に向けた思いが高まっていく様子が見られました。運動会がんばろう集会では、赤白の両応援団長の気持ちのこもった言葉があり、心一つにして臨んだ当日は、多くの保護者の方の参観により、一層の緊張感と高揚感、圧倒的なパワーを発揮する様子が見られ、素晴らしい演技、競技が繰り広げられました。

この運動会を通して、各学年においてそれぞれの成長が見られました。低学年は入学して1ヶ月半の1年生を2年生がリードし、力を合わせてリズムに乗って演技する姿や、最後まで一生懸命走る姿に思わず、大きな声で応援してしまいました。中学年は低学年のかわいらしさから一段と成長し、3,4年生としてのたくましさ、全力で取り組む気持ちを感じました。鳴子のリズムでリズムカルに踊り、3,4年生のパワーも感じました。高学年フラッグは、集団でのまとまりを感じ、フラッグのなびく音と子どもたちの息の合った動きで圧倒されました。また自分たちの競技演技のほかに、係の仕事もあり、この2週間余り、とても忙しく動き回る姿をたくさん見てきました。低学年のことを心配したり、進行を気にかけたり、応援に力を注いでいる姿はさすが高学年、学校全体を一つにまとめる力があり、全体を動かしている姿はすばらしく、見ている方々を魅了しました。

また、全校児童の一体感は演技、競技だけではなく、練習時から高学年が低学年に声掛けや手助けをする姿、互いに応援する姿が多く見られ、その気持ちが当日につながっていったからだと思います。学校行事によって子どもたちが成長していく様子を見ることができ嬉しく思います。

当日は早朝から多くの来賓の方々、保護者の皆様にご来校いただきありがとうございます。お忙しい中お越しいただき、子どもたちを応援し支えてくださった皆様には、大変感謝しております。また地域の方々には子どもたちへの温かい声掛けや見守りをしていただきました。またPTA役員の方、今年からのPTAサポーターとしてお仕事をさせていただいた方にも大変お世話になりました。開始から後片付けまでお手伝いいただきました。ありがとうございました。また、近隣の方々には放送等で4月から当日まで大変ご迷惑をおかけしました。このような多くの皆様の支えがあり、運動会を無事に進めることができました。ご理解とご協力本当にありがとうございました。

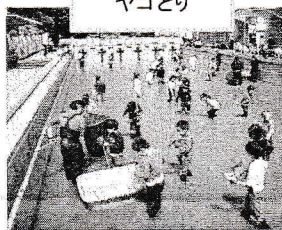


<学年の様子>

学校探検



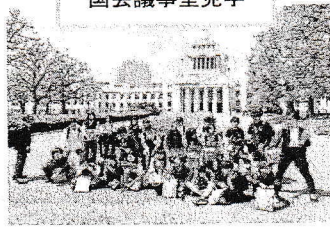
ヤゴとり



浄水場見学



国会議事堂見学



<『学校運営協議会』について>

昨年度まで「学校教育推進会議」の名称で、子ども達の授業やクラス代表の子による学級目標の発表などを自治会町会長や住民委員の皆様に参加していただき、感想などをいただいております。

今年度から『学校運営協議会』として開催して、川崎市のコミュニティ・スクールとなります。子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題が、年々複雑化・多様化しております。未来を担う生田の子ども達の豊かな成長のためには、教職員のみならず、地域住民や保護者等、社会総掛かりで教育の実現を目指す必要があります。これまで以上に「地域と共にある学校」と「社会に開かれた教育課程」を目指して『学校運営協議会』を設置しますことをご承知おください。